

令和 8 年度 学校経営計画書

1 スクール・ミッション

県西部地区の普通科・芸術科併置校の特色を生かし、多様性への対応と共通性の確保によって生徒の生きる力を育成し、共生・共育を推進する学校として、社会人基礎力を育成し、地域や社会の発展に貢献してできる人材の育成を目指す。

(探究とは、物事の意義や本質を見極めたり理解を深めたりすることをいう。以下、同じ。)

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

	グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
普通科	自身やチームの目標を定め、自己指導力と協調性を発揮して、人としてのウェルビーイングな人生を柔軟に探究する生徒 ・積極的に課題を発見し、諦めずに解決の道を探し続ける生徒を育成する ・ストレスコントロール力を身に付け、傾聴力と情報把握力で状況を把握し、地域や社会における共創に向け、尽力できる生徒を育成する	「わかる」授業の実践により考え抜く力を身に付けさせ、主体的に地域社会に貢献する生徒を育成する学校 ・他者と考え、理解し合い、自己肯定感を育成し、公正な判断ができる課題発見力を保障する ・キャリア教育や探究活動等を行うことで、地域社会における自身の価値創出に結びつける ・授業を通して「わかる」喜びと「できた」満足感を味わい、自己肯定感を高める	自他の違いを理解し、相互に人権感覚を高めようとする生徒 課題意識をもって授業に参加し、変化に対応しながら、前に踏み出す力を発揮する生徒 ・多様な価値観や考え方、言語、文化等を包含した環境下で、知性と創造力を発揮し、目標を設定し、よりよく生きようと探究する生徒 ・知性と創造力を発揮し、進路選択を含めた自己実現を目指す生徒

	グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
芸術科	芸術を通して、人としてのウェルビーイングな人生を柔軟に探究する生徒 ・感性を研ぎ澄ませ、創造力を発揮して、諦めず目標実現のために努力する生徒を育成する ・ストレスコントロール力を身に付け、傾聴力と情報把握力で状況を把握し、地域や社会に対して、価値を柔軟に発信できる生徒を育成する ・生涯にわたって芸術を愛好する生徒を育成する	「できる」を増やす授業実践により、創造力と計画性を身につけさせ、芸術を愛好する姿勢を貫く生徒を育成する学校 ・他者と考え、理解し合い、妥協し、公正な判断ができる課題発見力を保障する学校 ・幅広い芸術活動が体験できるカリキュラムを実現することで、地域社会と芸術との接点や、自分と芸術との関わりなど、ライフキャリアとして芸術を愛好する心情を育む学校	自他の違いを理解し、相互に人権感覚を高めようとする生徒 主体的に授業に参加し、創造力を発揮して、高い目標を持ち続ける生徒 ・多様な価値観や考え方、言語、文化、パーソナリティ等を包含した環境下で、知性と創造力を発揮し、目標を設定しよりよく探究する生徒 ・知性と創造力を発揮し、多様な進路選択から自己実現を目指す生徒

(知性とは、明白な答えがない問いや課題について考え、理解し、判断する能力のことをいう。以下、同じ。)
 (ウェルビーイングな人生とは、努力と成果、幸せや、失敗と挫折を全てが小さな積み重ねによるステップアップと考えることにより、心身ともに健康で、生きがいのある持続的な大きな幸福のサイクルの中にあると今の自分や他者、社会を価値づけること。この主観的ウェルビーイングは、学校満足度や各種自己評価を評価基準とすることが多い。)

(2) スクール・ポリシー具現化の柱 ～生きる力を育むために～

- ア 学校全体の心理的安全性の向上と安心・安全な学校づくりの推進
- イ 社会人基礎力の定着と知性を身に付けるための「わかる」授業の実践
- ウ 考え抜く力を身に付けて自己指導能力や地域貢献力を育む教育活動の実践
- エ 多様な生徒の自己実現に向けたキャリア教育や探究活動の推進

様式第1号

3 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載。太字または下線部は新規)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標(◎100% ○85% △70%)	担当部署
ア	(ア)課題予防的生徒指導と心身の不調、事故等を未然に防ぐ安心な学校づくり	身だしなみと礼法に係る指導の実施 教員からの声掛け、コミュニケーションによる生徒が相談しやすい環境作り 人権教育の推進 交通安全指導の実施 生徒指導提要の理解と遵守 不祥事根絶への取組の確実な実施	◎身だしなみを整えることはコミュニケーション能力の一つだと理解している生徒 ◎挨拶や礼法が自然とできている生徒 ◎相談できる先生がいる生徒 ◎SNSでの発信内容や情報端末の使用と管理に注意が必要であると理解している生徒 △江之島分校生徒を含め生徒の交流機会を設けた教職員 ◎自転車運転違反の青切符をもらわなかった生徒 ◎生徒指導提要に沿った指導を行う教職員	生徒保健課 総務情報課 各学年 管理職
	(イ)防災対策や環境整備等による安心・安全な学校づくり	防災・減災教育の実施による防災意識の浸透 多様性を尊重する人権教育の推進 特別な配慮を必要とする生徒へのチームでの対応 通信機能を活用した出欠・健康状態の管理による業務改善と生徒理解 施設設備の危険箇所や破損等の早期把握、迅速な対応 分校との共有施設の整備 身の回りの整頓と清掃活動の充実 目的志向型の校内予算の編成と効果的・計画的な予算執行	◎南海トラフ巨大地震発生・同臨時情報発布の際の避難行動を理解している生徒 ◎危機管理マニュアルを確認した教職員 ◎共生社会の実現に向け、共感的人間関係構築を目指した生徒 ◎チームによる生徒支援を実践した教職員 ◎援助希求力が備わり、心身の状態を正しく伝えた生徒 ◎生徒の気持ちや心身の状態を正しく把握し、ユニバーサルデザインを意識した授業や学級・学年・部活動経営を心かけた教員 ◎定期的な安全設備点検を実施した教職員 ◎学習環境が整っていると感じた生徒 ◎机やロッカーを整頓し、教室の環境整備を行った生徒・教職員 ◎事務職員と連携し、予算を計画的、且つ適切に執行した教職員	教務研修課 生徒保健課 進路図書課 総務情報課 事務部 各学年
イ	(ア)知性を育む社会人基礎力の育成	スモール・ステップによる評価とわかる授業の工夫 データを活用した個別最適な学習の実践	◎授業で、「わかる」「できた」を実感した生徒 ◎粘り強く基礎学力向上を目指した生徒 ◎授業や課題に前向きに取り組めた生徒 ◎教科の専門性を発揮し、授業で生徒指導を行っている教員 ◎単元や本時の目標の明示と授業方法の工夫によって授業改善を行った教員	教務研修課 各教科
	(イ)基礎学力、考え抜く力の向上につながる授業実践	ICT等を活用した授業、学習指導の充実 卒業・修了演奏会の充実 卒業制作・授業作品展の充実	◎ICT等を活用して「わかる」授業が行われていると感じた生徒 ◎ICT等を活用して基礎学力が定着したと評価した教職員 ◎演奏等に係る探究の結果、表現力や演奏技術が向上した生徒 ◎制作等に係る探究の結果、表現力や制作技術が向上した生徒	教務研修課 総務情報課 各教科 芸術科
ウ	(ア)主体性や規律性を身につける教育活動の実践	授業や学校行事における生徒の積極的参画 学校生活で、期待された役割に対して主体的に取り組む姿勢	◎学校生活や学校行事に積極的に取り組んでいる生徒 ◎授業に参加することが大切だと考える生徒 ◎始業時間や提出期限を守っている生徒 ◎学校生活で、自分の役割を自覚し、主体的に取り組もうとした生徒	生徒保健課 各学年

様式第1号

	(イ)自己指導能力や地域貢献力を育む教育活動の実践	ルールを守る指導の実施 ルールを改善する取組の推進 地域との連携事業への参加	◎自己指導力が身についた生徒 ○生徒が自己目標を設定し、目標達成のために行動できるような工夫をした教員 ○地域貢献活動に参加し、自他のウェルビーイングを実感できた生徒	生徒保健課 総務情報課 各学年 芸術科
エ	(ア)キャリア教育の実践	進路相談等業務の外部人材活用による業務改善とさらなる内容充実 面接指導や小論文指導の改善 出前授業、学校見学、インターンシップ、説明会等の効果的な実施 スタディサプリの有効的な活用	○進路指導に満足している生徒 ○進路実現に向けて自ら考え、情報を収集し、計画的に行動している生徒 ○進路に係る指導に充実感を感じた教職員 ◎BYOD 端末を活用した生徒の学習意欲が高まったと感じる教員 △探究的な学習の時間が進路実現に役立ったと実感できた生徒	進路図書課 各学年 各種委員会
	(イ)自己実現を目指す探究活動の実践	組織的な探究活動の実施 組織的な高特・中高連携の充実 図書館利用と読書の推進	○地域や自身の課題について考えた生徒 ◎探究活動の目的を共有した生徒・教員 ◎共生・共育について考え、行動した生徒 ○共生・共育について理解を深めた教員 ○共生・共育について事務室の立場で教員と分校に運営協力・提案した職員 ○月に1冊以上、本を読んだ生徒 △月に1回以上、図書館を利用した生徒	教務研修課 各学年 各種委員会 事務部 進路図書課
オ	(ア)地域や外部専門機関との連携	地域と連携した防災教育の推進 保護者、PTAや後援会、同窓会、学校運営協議会との連携 児童相談所、警察、各支援施設等との情報交換と連携 中学校との情報共有 大学、短大、専門学校及び学習支援ソフト業者への支援要請	○ジュニア防災士資格取得を目指した生徒 ○教職員による保護者や各種団体等との過不足のない情報共有と適時支援要請 ◎管理職による外部関係機関等との過不足のない情報共有と円滑な生徒支援要請 ○本校教育内容の広報活動(HP、インスタグラム、中学校訪問、図書館イベント等)充実 ○芸術科と大学等と地域社会との持続可能な連携	総務情報課 進路図書課 各学年 管理職 芸術科
	(イ)ワークライフバランスと働きがい創出に向けた実践及びコンプライアンス意識の徹底	部活動ガイドラインの遵守 生徒最終退校時間の徹底 教職員最終退校時間の設定 やりがいのある業務改善 コンプライアンスに係る研修充実 業務の削減	○部活動ガイドラインを意識している教職員 ○職員の時間外の月平均45時間以下 ○最終退校時間午後7時30分を守る生徒 ○最終退校時間午後8時を守る教職員 ◎週1回定時退勤日を設定 ◎朝打合、職員会議の回数・時間・内容削減 ◎職員室の機能的配置替え ○総務事務集中化に伴う事務部業務改善 ○担当業務に、やりがいを感じる教職員 △時差勤務試行に伴う柔軟な働き方について、内容を理解し、最適な働き方を選択した教職員 ○内規や慣例の見直しと総務事務集中化による総合的な分掌業務の改編に伴い、持続可能な業務の精選を目指した教職員 ◎研修等により、コンプライアンスに係る意識と環境の再確認ができた教職員	管理職 全教職員